

チャイナ・エネルギー・イノベーション 株式ファンド

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2025年9月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「チャイナ・エネルギー・イノベーション株式ファンド」は、2025年9月16日に第4期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年9月10日から2049年9月13日までです。	
運用方針	主として、「チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式ファンド	「チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド	上海および深センの金融商品取引所に上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）のほか、香港や米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<645046>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2021年9月10日	10,000		—	—	—	478
1期(2022年9月13日)	10,423		0	4.2	95.0	1,863
2期(2023年9月13日)	6,715		0	△35.6	95.3	1,037
3期(2024年9月13日)	4,830		0	△28.1	95.0	445
4期(2025年9月16日)	7,383		0	52.9	86.9	657

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2024年9月13日	円 4,830		% —	% 95.0
9月末	5,441		12.7	93.5
10月末	6,347		31.4	93.1
11月末	6,070		25.7	95.0
12月末	6,096		26.2	95.0
2025年1月末	5,774		19.5	95.3
2月末	6,080		25.9	94.7
3月末	5,770		19.5	95.0
4月末	4,984		3.2	94.1
5月末	5,131		6.2	95.5
6月末	5,466		13.2	94.8
7月末	5,878		21.7	94.5
8月末	6,632		37.3	95.5
(期 末) 2025年9月16日	7,383		52.9	86.9

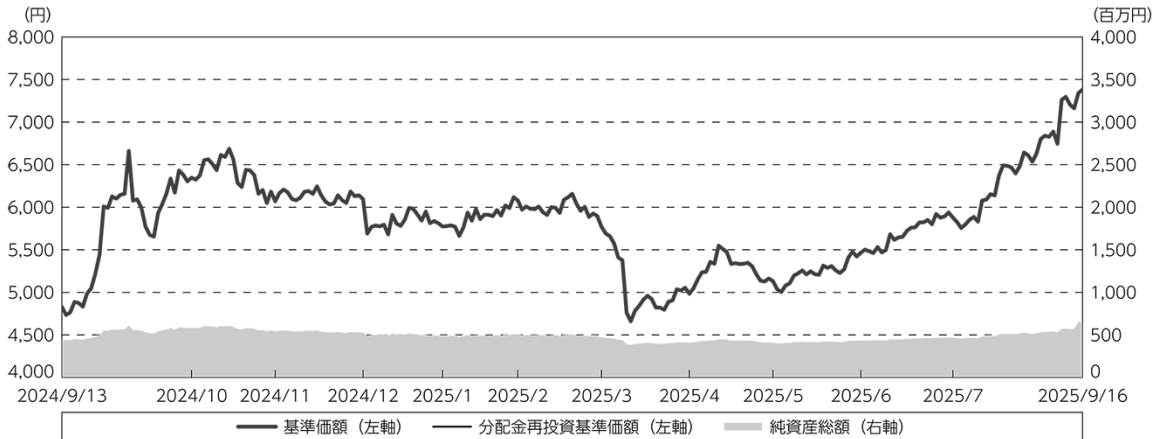
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年9月14日～2025年9月16日)

期中の基準価額等の推移



期 首：4,830円

期 末：7,383円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 52.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、上海および深センの金融商品取引所に加えて、香港や米国の金融商品取引所などに上場されており、脱炭素関連ビジネスを行なう中国企業およびその恩恵を受ける中国企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・2024年9月に中国政府が金融・財政刺激策を発表し、デフレからの好転が期待されたことから投資家の注目が急速に集まったこと。
- ・2025年5月以降、米中通商協議に一定の進展が見られ、投資家心理が改善したこと。
- ・中国の新興AI(人工知能)企業が開発した生成AIモデルに注目が集まり、テクノロジー関連銘柄が再評価されたこと。
- ・過当競争是正を目的とした「反内巻政策」の具体的な内容が明らかになりつつある中、企業の利益率改善などが期待されたこと。

<値下がり要因>

- ・2025年4月に米国のトランプ大統領が世界各国に対して市場予想を大きく上回る相互関税を発表したことにより、景気減速懸念が急速に広まったこと。
- ・2024年9月に中国政府が金融・財政刺激策を発表した後、急激に株価が上昇したことから利益確定に押されたこと。
- ・2025年初めにトランプ米国大統領の関税引き上げ動向に注目が集まる中、不確実性を背景に機関投資家からのリバランスとみられる売りがでたこと。

投資環境

(中国株式市況)

中国の株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2024年10月上旬にかけては、中国政府が金融・財政刺激策を発表し、大きく上昇しました。中国人民銀行（中央銀行）は政策金利を引き下げたほか、既存の住宅ローン金利の引き下げに加え、銀行が上場企業の自社株買いに資金供給支援を行なうための政策ツールを創設しました。これらの政策により、中国政府が経済成長を促進し、デフレから好転させることに軸足を移したと考えられたことから、投資家心理が改善しました。

その後は政策期待と利益確定売り圧力などにより一進一退の展開となりましたが、2025年に入ると、米中貿易摩擦に対する懸念や機関投資家によるリバランスなども重しとなり下落して始まりました。3月にかけては、中国の新興AI企業が開発した生成AIモデルに注目が集まり、テクノロジー関連銘柄が再評価されるなど、反発基調となりましたが、4月に入ると米国のトランプ大統領が世界各国に対して市場予想を大きく上回る相互関税を発表したことにより、景気後退に対する懸念が急速に広まり、大幅に下落しました。世界市場の混乱は主要な株式市場、商品市場、債券市場に波及したものの、米国政府が90日間の相互関税の停止を決定したことなどから下げ止まりました。

その後は、中国人民銀行が追加の利下げを実施したことに加え、米中通商協議において一定の進展が見られ緊張が緩和したこと、過当競争是正を目的とした「反内巻政策」の具体的内容が徐々に明らかになりつつある中、投資家心理が改善し、期間の終わりにかけて上昇基調となりました。

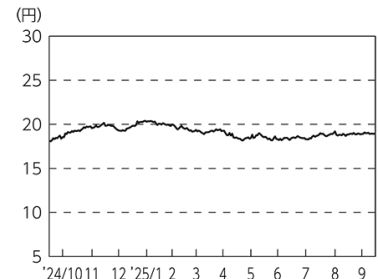
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／香港・オフショア人民元の推移



円／香港ドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド)

当ファンドの基準価額は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間中ポートフォリオでは、金融・財政刺激策で株式市場が急上昇する中、ディフェンシブな銘柄から出遅れた銘柄へ一部シフトしました。大幅な上昇後の利益確定局面に入った際には、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好でバリュエーション（株価評価）が妥当な銘柄に対して、逆張りの投資を行ないました。再び強気相場に入った後は、強気相場に追随するために、カーボン・ニュートラル関連からAI関連の電気機器や人型ロボット（ヒューマノイド）関連銘柄へと一部シフトしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2024年9月14日～ 2025年9月16日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	294

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド)

今後数年間の株式市場の上昇には引き続き期待していますが、短期的に調整が入る可能性には留意が必要とみています。経済のファンダメンタルズの改善、政策支援、豊富な流動性に加え、革新的産業の影響力の拡大が、引き続き市場の成長をけん引すると考えています。

短期的な株価変動の大きさには注意が必要とみられ、調整リスクはあるものの、中国市場の長期的な見通しは依然として有望とみています。AI、カーボン・ニュートラル、革新的医薬品などの新興産業における継続的なイノベーションと成長、さらに政府による経済改革と発展への取り組みが、多様な投資機会を提供すると期待しています。

中国経済が変革と高度化を続けていく中で、中国株式市場は有望なセクターや企業に資本を供給するという点で、ますます重要な役割を果たすことになると考えています。他方で、中国上場企業の2025年第2四半期の業績は、第1四半期から改善傾向にあり、目立った回復は見られないものの、利益率は底打ちの兆候が見られ、今後数四半期にわたって徐々に改善していくと予想しています。

AI関連銘柄が急伸したことを踏まえ、これらの銘柄の利益確定を一部行ない、割安なバリュエーションで出遅れている銘柄へとシフトする可能性があります。第2四半期の業績を踏まえると、カーボン・ニュートラル関連銘柄は、バリュエーションが魅力的と考えています。また、市場の調整局面において、太陽光発電や風力発電の出遅れ銘柄に対して、逆張り投資を検討しています。ただし、AIインフラ関連銘柄については、AI関連の成長ストーリーがまだ道半ばであり、他のセクターと比べて利益成長率が高いことから、引き続き高めの投資比率を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 9 月14日～2025年 9 月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	99	1.697	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(48)	(0.832)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.832)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.453	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(26)	(0.453)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	8	0.141	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(8)	(0.141)	
(d) そ の 他 費 用	46	0.792	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(40)	(0.690)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(6)	(0.097)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	179	3.083	
期中の平均基準価額は、5,805円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

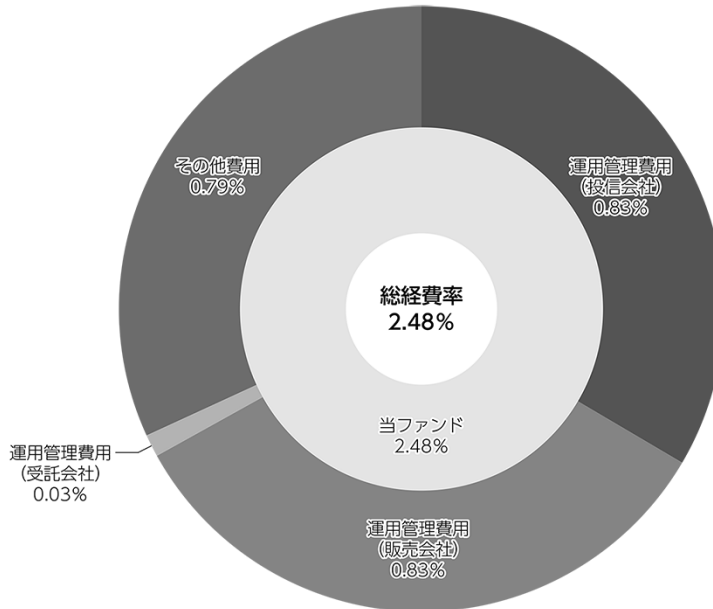
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.48%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月14日～2025年9月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド	千口 29,856	千円 20,032	千口 167,890	千円 104,690

○株式売買比率

(2024年9月14日～2025年9月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,642,266千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	461,809千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.55

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年9月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年9月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年9月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド	869,385	731,351	575,500

(注) 親投資信託の2025年9月16日現在の受益権総口数は、731,351千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年9月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド	575,500	86.5
コール・ローン等、その他	89,686	13.5
投資信託財産総額	665,186	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(574,921千円)の投資信託財産総額(593,328千円)に対する比率は96.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=147.53円、1香港ドル=18.96円、1香港・オフショア人民元=20.7165円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	665,186,944
コール・ローン等	89,685,217
チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド(評価額)	575,500,531
未収利息	1,196
(B) 負債	7,827,724
未払解約金	3,405,366
未払信託報酬	3,939,477
その他未払費用	482,881
(C) 純資産総額(A－B)	657,359,220
元本	890,370,496
次期繰越損益金	△233,011,276
(D) 受益権総口数	890,370,496口
1万口当たり基準価額(C／D)	7,383円

(注) 当ファンドの期首元本額は921,957,753円、期中追加設定元本額は182,454,359円、期中一部解約元本額は214,041,616円です。
(注) 1口当たり純資産額は0.7383円です。
(注) 2025年9月16日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は233,011,276円です。

○損益の状況 (2024年9月14日～2025年9月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	60,453
受取利息	60,453
(B) 有価証券売買損益	202,161,740
売買益	224,709,710
売買損	△22,547,970
(C) 信託報酬等	△8,817,022
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	193,405,171
(E) 前期繰越損益金	△351,653,606
(F) 追加信託差損益金	△74,762,841
(配当等相当額)	(7,287,291)
(売買損益相当額)	(△82,050,132)
(G) 計(D＋E＋F)	△233,011,276
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△233,011,276
追加信託差損益金	△74,762,841
(配当等相当額)	(7,326,183)
(売買損益相当額)	(△82,089,024)
分配準備積立金	18,867,801
繰越損益金	△177,116,236

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2024年9月14日～2025年9月16日の期間に当ファンドが負担した費用は2,406,573円です。

(注) 分配金の計算過程 (2024年9月14日～2025年9月16日) は以下の通りです。

項 目	2024年9月14日～ 2025年9月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,364,492円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,326,183円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	14,503,309円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	26,193,984円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	294円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年9月14日から2025年9月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）
- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

チャイナ・エネルギー・イノベーション株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2025年9月16日）
（2024年9月14日～2025年9月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年9月10日から原則無期限です。
運用方針	主として、金融商品取引所に上場されている中国企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	上海および深センの金融商品取引所に上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）のほか、香港や米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、上海および深センの金融商品取引所に加えて、香港や米国の金融商品取引所などに上場されており、脱炭素関連ビジネスを行なう中国企業およびその恩恵を受ける中国企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、ファンドの状況などによっては、上場投資信託証券などに投資する場合があります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<639164>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2021年9月10日	10,000		—	—	466
1期(2022年9月13日)	10,619		6.2	97.3	1,820
2期(2023年9月13日)	6,875		△35.3	97.8	1,011
3期(2024年9月13日)	4,990		△27.4	97.5	433
4期(2025年9月16日)	7,869		57.7	99.2	575

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率
		騰	落 率	
(期 首)	円		%	%
2024年9月13日	4,990		—	97.5
9月末	5,642		13.1	95.5
10月末	6,608		32.4	95.8
11月末	6,323		26.7	97.2
12月末	6,361		27.5	97.6
2025年1月末	6,025		20.7	97.8
2月末	6,361		27.5	96.9
3月末	6,038		21.0	97.2
4月末	5,203		4.3	96.5
5月末	5,368		7.6	97.9
6月末	5,736		14.9	97.1
7月末	6,188		24.0	97.0
8月末	7,014		40.6	98.0
(期 末)				
2025年9月16日	7,869		57.7	99.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年9月14日～2025年9月16日)

基準価額の推移

期間の初め4,990円の基準価額は、期間末に7,869円となり、騰落率は+57.7%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・2024年9月に中国政府が金融・財政刺激策を発表し、デフレからの好転が期待されたことから投資家の注目が急速に集まったこと。
- ・2025年5月以降、米中通商協議に一定の進展が見られ、投資家心理が改善したこと。
- ・中国の新興AI（人工知能）企業が開発した生成AIモデルに注目が集まり、テクノロジー関連銘柄が再評価されたこと。
- ・過当競争是正を目的とした「反内巻政策」の具体的な内容が明らかになりつつある中、企業の利益率改善などが期待されたこと。

<値下がり要因>

- ・2025年4月に米国のトランプ大統領が世界各国に対して市場予想を大きく上回る相互関税を発表したことにより、景気減速懸念が急速に広まったこと。
- ・2024年9月に中国政府が金融・財政刺激策を発表した後、急激に株価が上昇したことから利益確定に押されたこと。
- ・2025年初めにトランプ米国大統領の関税引き上げ動向に注目が集まる中、不確実性を背景に機関投資家からのリバランスとみられる売りがでたこと。

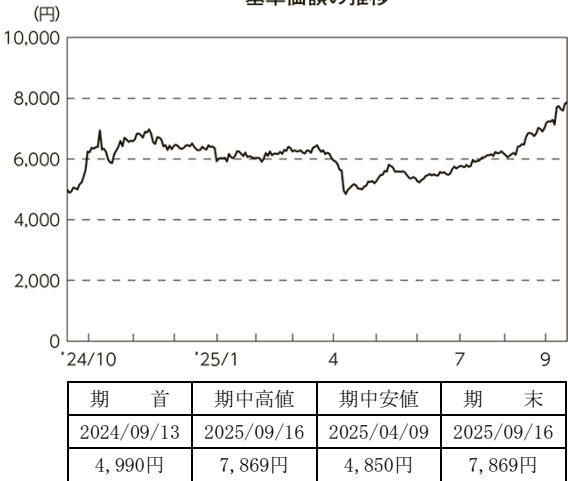
(中国株式市況)

中国の株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2024年10月上旬にかけては、中国政府が金融・財政刺激策を発表し、大きく上昇しました。中国人民銀行（中央銀行）は政策金利を引き下げたほか、既存の住宅ローン金利の引き下げに加え、銀行が上場企業の自社株買いに資金供給支援を行なうための政策ツールを創設しました。これらの政策により、中国政府が経済成長を促進し、デフレから好転させることに軸足を移したと考えられたことから、投資家心理が改善しました。

その後は政策期待と利益確定売り圧力などにより一進一退の展開となりましたが、2025年に入ると、米中貿易摩擦に対する懸念や機関投資家によるリバランスなども重しとなり下落して始まりました。3月にかけて

基準価額の推移



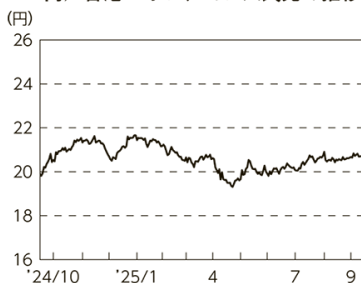
は、中国の新興AI企業が開発した生成AIモデルに注目が集まり、テクノロジー関連銘柄が再評価されるなど、反発基調となりましたが、4月に入ると米国のトランプ大統領が世界各国に対して市場予想を大きく上回る相互関税を発表したことにより、景気後退に対する懸念が急速に広まり、大幅に下落しました。世界市場の混乱は主要な株式市場、商品市場、債券市場に波及したものの、米国政府が90日間の相互関税の停止を決定したことなどから下げ止まりました。

その後は、中国人民銀行が追加の利下げを実施したことに加え、米中通商協議において一定の進展が見られ緊張が緩和したこと、過当競争是正を目的とした「反内巻政策」の具体的内容が徐々に明らかになりつつある中、投資家心理が改善し、期間の終わりにかけて上昇基調となりました。

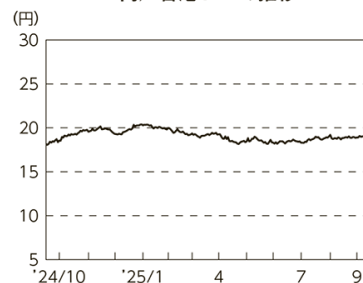
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／香港・オフショア人民元の推移



円／香港ドルの推移



ポートフォリオ

当ファンドの基準価額は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間中ポートフォリオでは、金融・財政刺激策で株式市場が急上昇する中、ディフェンシブな銘柄から出遅れた銘柄へ一部シフトしました。大幅な上昇後の利益確定局面に入った際には、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好でバリュエーション（株価評価）が妥当な銘柄に対して、逆張りの投資を行ないました。再び強気相場に入った後は、強気相場に追随するために、カーボン・ニュートラル関連からAI関連の電気機器や人型ロボット（ヒューマノイド）関連銘柄へと一部シフトしました。

○今後の運用方針

今後数年間の株式市場の上昇には引き続き期待していますが、短期的に調整が入る可能性には留意が必要とみています。経済のファンダメンタルズの改善、政策支援、豊富な流動性に加え、革新的産業の影響力の拡大が、引き続き市場の成長をけん引すると考えています。

短期的な株価変動の大きさには注意が必要とみられ、調整リスクはあるものの、中国市場の長期的な見通しは依然として有望とみています。A I、カーボン・ニュートラル、革新的医薬品などの新興産業における継続的なイノベーションと成長、さらに政府による経済改革と発展への取り組みが、多様な投資機会を提供すると期待しています。

中国経済が変革と高度化を続けていく中で、中国株式市場は有望なセクターや企業に資本を供給するという点で、ますます重要な役割を果たすことになると考えています。他方で、中国上場企業の2025年第2四半期の業績は、第1四半期から改善傾向にあり、目立った回復は見られないものの、利益率は底打ちの兆候が見られ、今後数四半期にわたって徐々に改善していくと予想しています。

A I 関連銘柄が急伸したことを踏まえ、これらの銘柄の利益確定を一部行ない、割安なバリュエーションで出遅れている銘柄へとシフトする可能性があります。第2四半期の業績を踏まえると、カーボン・ニュートラル関連銘柄は、バリュエーションが魅力的と考えています。また、市場の調整局面において、太陽光発電や風力発電の出遅れ銘柄に対して、逆張り投資を検討しています。ただし、A I インフラ関連銘柄については、A I 関連の成長ストーリーがまだ道半ばであり、他のセクターと比べて利益成長率が高いことから、引き続き高めの投資比率を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 9 月14日～2025年 9 月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 28 (28)	% 0.464 (0.464)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.145 (0.145)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	43 (43) (0)	0.708 (0.707) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	80	1.317	
期中の平均基準価額は、6,072円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2024年 9 月14日～2025年 9 月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	香港	百株 9,191	千香港ドル 4,461	百株 4,001	千香港ドル 3,782
	中国オフショア	12,379 (215)	千香港・オフショア人民元 33,682 (ー)	13,928	千香港・オフショア人民元 37,994

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年9月14日～2025年9月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,642,266千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	461,809千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.55

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年9月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年9月16日現在)

外国株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円	
BAIDU INC-CLASS A		40	—	—	—	メディア・娯楽
BYD ELECTRONIC INTL CO LTD		150	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CALB GROUP CO LTD-H		—	120	328	6,234	自動車・自動車部品
DONGYUE GROUP		—	250	300	5,688	素材
FLAT GLASS GROUP CO LTD-H		—	400	471	8,941	半導体・半導体製造装置
GCL TECHNOLOGY HOLDINGS LTD		—	4,000	504	9,555	半導体・半導体製造装置
JOHNSON ELECTRIC HLDGS		—	140	433	8,212	自動車・自動車部品
GOLDWIND SCIENCE&TECHNOLOG-H		—	700	760	14,413	資本財
XIAOMI CORP-CLASS B		330	100	562	10,655	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数	520	5,710	3,359	63,701	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	7	—	<11.1%>	
(中国オフショア)				千香港・オフショア人民元		
ARCTECH SOLAR HOLDING CO L-A		97	—	—	—	資本財
AUTEL INTELLIGENT TECHNOLO-A		—	80	301	6,253	自動車・自動車部品
BYD CO LTD -A		55	22	239	4,954	自動車・自動車部品
CGN POWER CO LTD-A		900	—	—	—	公益事業
CHONGQING CHANGAN AUTOMOB-A		180	—	—	—	自動車・自動車部品
CHINA MOLYBDENUM CO LTD-A		300	—	—	—	素材
CHINA YANGTZE POWER CO LTD-A		120	—	—	—	公益事業
CHINA RARE EARTH RESOURCES-A		—	60	339	7,027	素材
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A		107	55	1,950	40,414	資本財
DAJIN HEAVY INDUSTRY CO LT-A		—	140	557	11,543	資本財
EAGLERISE ELECTRIC & ELECT-A		120	—	—	—	資本財
EVE ENERGY CO LTD-A		140	70	517	10,719	資本財
FLAT GLASS GROUP CO LTD-A		120	—	—	—	半導体・半導体製造装置
GINLONG TECHNOLOGIES CO LT-A		80	40	338	7,012	資本財
GUOXUAN HIGH-TECH CO LTD-A		—	60	275	5,712	資本財
GUANGZHOU TINCI MATERIALS -A		139	—	—	—	素材
HAN'S LASER TECHNOLOGY IN-A		—	125	470	9,744	資本財
HANGZHOU ZHONGHENG ELECTRI-A		—	150	462	9,589	資本財
HANGZHOU FIRST APPLIED MAT-A		236	—	—	—	半導体・半導体製造装置
HAINAN DRINDA NEW ENERGY T-A		—	70	321	6,657	半導体・半導体製造装置
HAINAN JINPAN SMART TECHNO-A		69	—	—	—	資本財
HANWEI ELECTRONICS GROUP-A		—	75	405	8,405	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HEXING ELECTRICAL CO LTD-A		110	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HOYMILES POWER ELECTRONICS-A		19	—	—	—	資本財
HUAGONG TECH CO LTD-A		—	20	162	3,366	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HUANENG POWER INTL INC-A		300	—	—	—	公益事業
HUAMING POWER EQUIPEMENT C-A		220	—	—	—	資本財
HUNAN YUNENG NEW ENERGY BA-A		80	—	—	—	資本財
JA SOLAR TECHNOLOGY CO LTD-A		198	350	464	9,614	半導体・半導体製造装置
JIANGSU AZURE CORP-A		—	140	249	5,162	運輸
JIANGSU ZHONGTIAN TECHNOLO-A		280	—	—	—	資本財
GOODWE TECHNOLOGIES CO LTD-A		45	50	273	5,662	資本財
JIANGSU HAILI WIND POWER E-A		—	74	610	12,643	資本財
JINLEI TECHNOLOGY CO LTD -A		—	100	275	5,697	資本財

銘柄	株数	当期(前期末)				業種等	
		株数	当期				
			評価	価額	額		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(中国オフショア)	百株	百株	千円・オフショア人民元	千円			
JIANGSU CNANO TECHNOLOGY C-A	—	70	392	8,128	素材		
JONES TECH PLC-A	—	70	245	5,090	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		
KEHUA DATA CO LTD -A	—	65	457	9,473	資本財		
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	—	100	171	3,554	半導体・半導体製造装置		
LONGSHINE TECHNOLOGY CO LT-A	—	100	219	4,545	ソフトウェア・サービス		
LUOYANG XINQIANGLIAN SLEW1-A	—	100	357	7,406	資本財		
MING YANG SMART ENERGY GRO-A	—	280	362	7,517	資本財		
FULIN PRECISION CO LTD-A	—	172	268	5,565	自動車・自動車部品		
MOON ENVIRONMENT TECHNOLOG-A	—	200	277	5,750	資本財		
NARI TECHNOLOGY CO LTD-A	131	—	—	—	資本財		
NANTONG JIANGHAI CAPACITOR-A	—	110	365	7,574	資本財		
NINGBO TUOPU GROUP CO LTD-A	60	—	—	—	自動車・自動車部品		
NINGXIA BAOFENG ENERGY GRO-A	140	—	—	—	素材		
NINGBO ORIENT WIRES & CABL-A	150	—	—	—	資本財		
NINGBO DEYE TECHNOLOGY CO -A	102	70	516	10,705	資本財		
NINGBO SANXING MEDICAL CO -A	160	—	—	—	資本財		
NINGBO HUAXIANG ELECTRONIC-A	—	70	225	4,662	自動車・自動車部品		
NINGBO ZHENYU TECHNOLOGY C-A	—	20	319	6,626	資本財		
POCO HOLDING CO LTD-A	—	35	269	5,591	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		
PYLON TECHNOLOGIES CO LTD-A	—	55	328	6,798	資本財		
RAYHOO MOTOR DIES CO LTD-A	89	—	—	—	資本財		
SBT ULTRASONIC TECHNOLOGY -A	—	55	480	9,947	資本財		
SHANGHAI HANBELL PRECISE -A	—	80	207	4,295	資本財		
SHENZHEN KEDALI INDUSTRY C-A	35	20	305	6,325	自動車・自動車部品		
SHENZHEN MEGMEET ELECTRIC-A	140	50	434	8,997	資本財		
SHENZHEN FRD SCIENCE & TECHN-A	—	80	235	4,877	資本財		
SHENZHEN ENVICOOL TECHNOLO-A	120	84	625	12,959	資本財		
SHANGHAI BAOLONG AUTOMOTIV-A	110	—	—	—	自動車・自動車部品		
SHENZHEN ZHAOWEI MACHINERY-A	50	—	—	—	資本財		
SHENZHEN SINEXCEL ELECTRIC-A	—	50	195	4,058	資本財		
SHANGHAI AIKO SOLAR ENERGY-A	—	270	428	8,876	半導体・半導体製造装置		
SHENZHEN UNITED WINNERS LA-A	—	170	446	9,255	資本財		
SHENZHEN HONOR ELECTRONIC -A	—	11	251	5,200	資本財		
SHENZHEN HOPEWIND ELECTRIC-A	—	135	460	9,531	資本財		
SHANGHAI RUKING TECHNOLOGI-A	—	30	274	5,686	資本財		
SHENZHEN AMPRON TECHNOLOGY-A	—	25	375	7,773	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		
SIEYUAN ELECTRIC CO LTD-A	80	40	372	7,724	資本財		
SINOMINE RESOURCE GROUP CO-A	90	90	391	8,108	素材		
SINENG ELECTRIC CO LTD-A	100	—	—	—	資本財		
SOLAX POWER NETWORK TECHNO-A	—	60	448	9,290	資本財		
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	232	127	1,735	35,957	資本財		
SUZHOU MAXWELL TECHNOLOGIE-A	20	—	—	—	半導体・半導体製造装置		
SUNRESIN NEW MATERIALS CO -A	85	50	269	5,574	素材		
TIANQI LITHIUM CORP-A	—	50	226	4,693	素材		
TONGWEI CO LTD-A	119	300	664	13,772	半導体・半導体製造装置		
WEIHAI GUANGWEI COMPOSITES-A	150	—	—	—	素材		
WEICHAI HEAVY MACHINERY CO-A	—	95	446	9,251	資本財		
WINDEY ENERGY TECHNOLOGY G-A	—	180	336	6,973	資本財		
WUXI BEST PRECISION MACHIN-A	145	—	—	—	自動車・自動車部品		
XUJI ELECTRIC CO LTD-A	180	—	—	—	資本財		
XTC NEW ENERGY MATERIALS X-A	—	50	414	8,578	資本財		

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額	
(中国オフショア)			百株	百株	千円・オフショア円	千円	
YANTAI JEREH OILFIELD-A			—	70	349	7,230	エネルギー
YANGZHOU YANGJIE ELECTRONI-A			90	—	—	—	半導体・半導体製造装置
YUNNAN ALUMINIUM CO LTD-A			160	—	—	—	素材
ZANGGE MINING CO LTD-A			—	60	340	7,056	素材
YUTONG BUS CO LTD-A			200	—	—	—	資本財
ZHEJIANG HUAYOU COBALT CO -A			—	40	209	4,329	資本財
ZHEJIANG RONGTAI ELECTRIC -A			—	55	572	11,866	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	6,860	5,526	24,490	507,367		
	銘 柄 数 < 比 率 >	47	60	—	<88.2%>		
合 計	株 数 ・ 金 額	7,380	11,236	—	571,068		
	銘 柄 数 < 比 率 >	50	67	—	<99.2%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年9月16日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	571,068	96.2
コール・ローン等、その他	22,260	3.8
投資信託財産総額	593,328	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（574,921千円）の投資信託財産総額（593,328千円）に対する比率は96.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=147.53円、1香港ドル=18.96円、1香港・オフショア人民元=20.7165円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	658,897,290
コール・ローン等	19,931,709
株式(評価額)	571,068,687
未収入金	67,896,887
未収利息	7
(B) 負債	83,409,678
未払金	83,409,678
(C) 純資産総額(A－B)	575,487,612
元本	731,351,546
次期繰越損益金	△155,863,934
(D) 受益権総口数	731,351,546口
1万口当たり基準価額(C／D)	7,869円

- (注) 当ファンドの期首元本額は869,385,680円、期中追加設定元本額は29,856,069円、期中一部解約元本額は167,890,203円です。
- (注) 2025年9月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・チャイナ・エネルギー・イノベーション株式ファンド 731,351,546円
- (注) 1口当たり純資産額は0.7869円です。
- (注) 2025年9月16日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は155,863,934円です。

○損益の状況 (2024年9月14日～2025年9月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,537,959
受取配当金	4,501,447
受取利息	36,512
(B) 有価証券売買損益	225,190,897
売買益	283,825,015
売買損	△ 58,634,118
(C) 保管費用等	△ 3,367,023
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	226,361,833
(E) 前期繰越損益金	△435,601,953
(F) 追加信託差損益金	△ 9,823,167
(G) 解約差損益金	63,199,353
(H) 計(D＋E＋F＋G)	△155,863,934
次期繰越損益金(H)	△155,863,934

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年9月14日から2025年9月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」に運用指図権限を委託しておりますが、当社の社名変更に伴ない、当該運用委託先の社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド」に変更いたしました。(第16条)
 - ③法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第51条)
 - ④当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第53条)